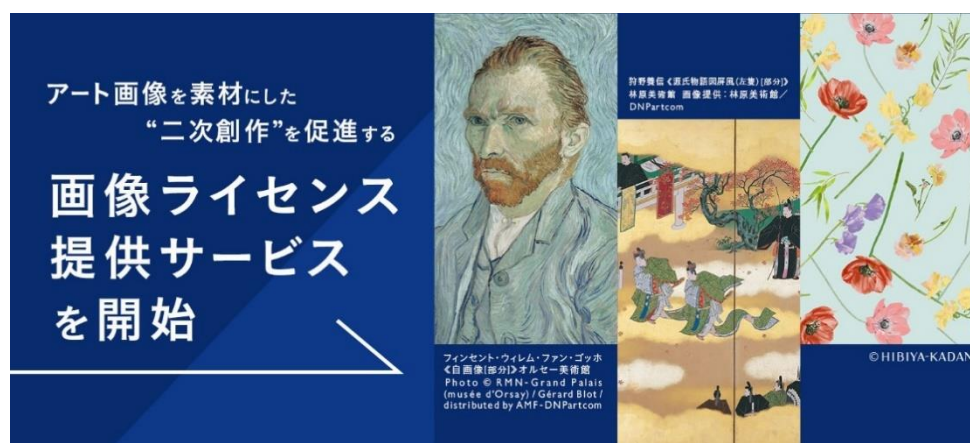


2023年12月5日
大日本印刷株式会社
GMO ペパボ株式会社
株式会社日比谷花壇

大日本印刷グループとGMOペパボ・日比谷花壇が連携し、 アート作品の二次創作を促進する画像ライセンス提供サービスを開始

大日本印刷株式会社(DNP)とグループ会社の株式会社DNPアートコミュニケーションズは、GMOインターネットグループのGMOペパボ株式会社、株式会社日比谷花壇と連携し、主に個人クリエイターに向けて、アート作品の画像データのライセンス(利用許諾)提供サービス「イメージアーカイブ・ラボ」*1を2023年12月5日に開始しました。「イメージアーカイブ・ラボ」は、2022年5月より実証実験*2を進めていたもので、有償の画像ライセンス+証明書販売の需要が確認できたため、正式なサービスとして提供を開始しました。なお、「イメージアーカイブ・ラボ」での提供画像は、これまでフランス国立美術館連合(RMN-Grand Palais)に所属する美術館の所蔵品・名画が対象でしたが、このたびの正式リリースに伴い、株式会社日比谷花壇のフラワーグラフィックと林原美術館の所蔵する東洋古美術品が加わりました。画像ライセンスを購入したクリエイターは、さらに多彩な作品を素材とした創作活動が可能となります。



GMOペパボ | DNP 大日本印刷 | HIBIYA-KADAN

【「イメージアーカイブ・ラボ」とは】

「イメージアーカイブ・ラボ」は、DNP と DNP アートコミュニケーションズが提供する、多様なアート画像の提供を通じてクリエイターの創作活動を支援するアート画像ライセンス提供サービスです。画像ライセンスを購入したクリエイターにはブロックチェーン技術を活用し証明書を発行するため、画像データを素材とした新しい作品を安心して創作・販売することが可能です。

【アート画像ライセンス提供サービスの開始の背景】

クリエイターを中心とした経済圏(クリエイターエコノミー)の2022年の国内市場規模は約1兆6,552億円と2021年の約1兆3,574億円から21.9%増加*3しており、今後も成長が見込まれています。中でも、個人クリエイターが第三者の著作物を素材として新しいコンテンツを創作(二次創作)し、さらに別の個人クリエイターが二次創作物を素材に別のコンテンツを創作する循環(n次創作)は、コンテンツ市場の拡大に大きく寄与すると考えられています。一方で、著作物等の権利許諾を得るには煩雑な手続きが必要で、取引コストも大きく、個人クリエイターが「二次/n次創作物」を公開・販売する際の障害となっており、これによる機会損

失は潜在市場で1兆4千億円*4と推定されています。

こうした課題の解決に向けて DNP グループは、主に法人向けに展開してきたアート画像の利用許諾サービス「イメージアーカイブ」*5 の対象を個人クリエイターに拡大し、安心して「二次／n 次創作」を行える環境を整備する実証実験行ってきました。その結果、画像ライセンスと証明書の有償販売の需要が確認できたため、今回、正式なサービスとして提供を開始することとしました。

【アート画像ライセンス提供サービスの特長】

■個人クリエイターを中心とした画像ライセンスの提供

GMO ペパボが運営する国内最大*6 のハンドメイドマーケット「minne (ミンネ) byGMO ペパボ」*7 と連携することで、minne の作家・ブランドは、購入した画像ライセンスを活用して作品を創作し、「minne byGMO ペパボ」で販売することができます。minne 作家・ブランドに対する利用許諾費用は、ハンドメイド作品の販売価格に応じて設定されます。現時点での「イメージアーカイブ・ラボ」が提供するアート画像を使用した作品販売は「minne byGMO ペパボ」のみで可能となります。

< 作品例 >



左:ルノワールの「桃」をもとに Asahi art style さんが制作した作品

中:「竹図屏風(右隻)」をもとに ami さんが制作した作品

右:「Spring Blossom Delight-tulip 03」をもとに Shizuku さんが制作した作品

■ブロックチェーン技術で安心してアート画像が使える

minne作家・ブランドが創作した作品を「minne byGMOペパボ」に出品する際に、ブロックチェーン技術によるデジタル証明書サービス「A trust (エートラスト)」*8 を利用して証明書にリンクすることで、正規に画像データの利用許諾を受けていることを証明できます。

■画像ライセンス提供プラットフォームにDNPの「Imaging Mall®(イメージモール)」を採用

今回、株式会社DNPフォトイメージングジャパンが提供する法人向けクラウド型画像販売ソリューション「Imaging Mall」*9 を活用し、「イメージアーカイブ・ラボ」の画像ダウンロードと同時にブロックチェーン証明書を発行する仕組みを新たに開発することで、画像の貸出サービスを行います。

■日比谷花壇 フラワーグラフィックサービス「花屋さんのお花柄」との連携*10

日比谷花壇の長年のノウハウをもとに、企画やコンセプトメイキング、販売等の総合的なプロデュースを手掛けるフラワーグラフィックサービス「花屋さんのお花柄」が、今回の正式サービスリリースに伴い提供画像に追加となりました。「花屋さんのお花柄」は、多くの企業向けにオリジナルのフラワーデザインをゼ

ロから制作し、広告やパッケージ、商品に採用され、これまで多数のアパレル商品や雑貨が誕生しています。また、シーズンごとに新作発表も行なっており、人々の生活に彩りを提案しています。数多くの高品質のフラワーフォトストックからお選びいただける画像はもとより、企業や商品のイメージに叶う、オリジナルフラワーデザインの監修、商品化まで、それぞれのニーズに応じたサービスを展開しています。

■minne byGMO ペパポでの販売作品をクリエイターから募集する企画の実施

○初回企画名：minne ART MUSEUM — 歴史的名作とハンドメイド

○募集期間：2023年12月5日(火)～2024年1月22日(月)

○その他、随時企画を実施する予定です。

詳細は「minne byGMO ペパポ」のnote(<https://note.minne.com/n/na75141599bfb>)をご確認ください

■権利許諾するアート画像

所蔵元	作品
フランス国立美術館連合 (RMN -Grand Palais)	フィンセント・ウィレム・ファン・ゴッホ《自画像》 ピエール＝オーギュスト・ルノワール《桃》など、計12点
一般財団法人林原美術館	狩野養信《源氏物語図屏風(左隻)》 菱川師宣《立美人図》など、計10点
株式会社日比谷花壇	日比谷花壇フラワーグラフィックシリーズ 「Spring Blossom Delight」計10点

【今後の展開】

今後も、本取り組みに賛同する企業や団体と連携し、多くの個人クリエイターがアートをより身近に感じるとともに、安心して「二次／n次創作」を行い、作品を販売する環境を提供していきます。クリエイターのニーズも踏まえた取り扱いジャンル・コンテンツの拡充を行い、「minne byGMO ペパポ」を利用する作家・ブランドの作品募集企画の実施などを通じ、“ホワイトマーケット”の醸成に取り組んでいきます。

*1 イメージアーカイブ・ラボURL <https://imagingmall.com/imagearchiveslab>

提供サービス <https://imagingmall.com/imagearchiveslab/About/5786988979476978/serv/index.html>

*2 2022年5月26日ニュースリリース:大日本印刷 エイベックス・テクノロジーズ GMO ペパポ アート画像を素材にした“二次創作”を促進する実証実験を開始 https://www.dnp.co.jp/news/detail/10162607_1587.html

*3 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 2023年10月「国内クリエイターエコノミーに関する調査結果」

*4 令和元年度 知的財産権ワーキング・グループ等侵害対策強化事業 n次創作活動に関する調査(経済産業省)

*5 イメージアーカイブについて：<https://images.dnpartcom.jp/>

*6 ハンドメイド作品の販売を主軸とするハンドメイドマーケット運営会社2社の作家・ブランド数と作品数に関するIR資料公表数値及びサイト公表数値を比較。2023年10月12日時点、GMO ペパポ調べ。

*7 「minne byGMO ペパポ」URL <https://minne.com/>

*8 A trust:ブロックチェーン技術によるデジタル証明書を提供するエイベックス・エンタテインメント株式会社のサービス

*9 Imaging Mallについて：https://www.dnp.co.jp/biz/solution/products/detail/10161941_1567.html

*10 「花屋さんのお花柄」URL <https://www.hk-business.biz/flowerpattern/>

- 大日本印刷株式会社 (<https://www.dnp.co.jp/>)
本社:東京、代表取締役社長:北島 義斉、資本金:1,144 億円
- GMO ペパボ株式会社 (<https://pepabo.com/>)
本社:東京、代表取締役社長:佐藤 健太郎、資本金:2 億 6,222 万円
- 株式会社日比谷花壇 (<https://www.hibiya.co.jp/>)
本社:東京、代表取締役社長:宮島 浩彰、資本金:1 億円
- 一般財団法人林原美術館 (<https://www.hayashibara-museumofart.jp/>)
所在地:岡山、代表理事:長瀬 玲二

<報道関係からのお問合せ先>

- 大日本印刷株式会社 IR・広報本部 野田
TEL:080-2242-9220 E-mail:Noda-M4@mail.dnp.co.jp
- GMO ペパボ株式会社 社長室 広報 伊早坂
TEL:03-5456-2622 E-mail:pr@pepabo.com
- 株式会社日比谷花壇 広報室 青木・中村
TEL:03-5444-8715 E-mail:hibiyakadan-pr@hibiya.co.jp

—以上—